

新園舎での生活

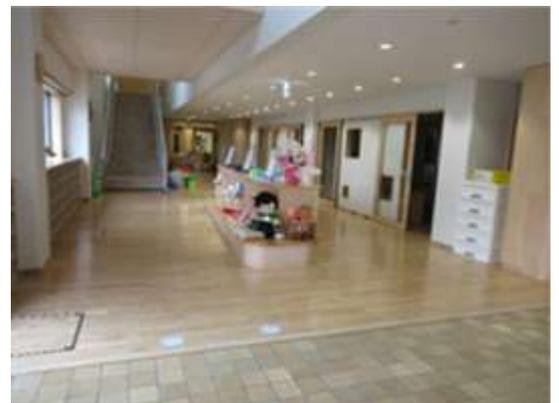
園長 池田 克子

虫の声に秋の訪れを感じる頃となりました。あんずタイム（預かり保育）で園に通って夏を過ごしたお子さんも、家庭で過ごしたお子さんも、夏休みにいろいろな経験をし、たくましく成長したことでしょう。子どもたちから、海やプールに行ったり、祖父母や親戚の家に遊びに行ったりした話が聞かれました。今年は、数年ぶりに地域でのお祭りなども開催され、親子で参加される姿も見られました。日常できない経験がたくさんできたのではないのでしょうか。

さて、この夏休み中、幼稚園では新園舎への引っ越しがありました。思い出いっぱい旧園舎からの引っ越しは寂しい気持ちもありましたが、ピカピカの新園舎での生活が始まり、新たな生活にドキドキワクワクしています。新園舎は、白い壁面に木目調の建具が多く使用され、広い玄関やオープンスペースの保育室、ホールがあります。大きな窓から光が差し込み、テラスにはウッドデッキが広がるなど、温かみと開放感が感じられるとても素敵な建物です。

新園舎での生活のスタート、ここからが保育者の出番です。「広いウッドデッキのテラスでどんな運動遊びやごっこ遊びができるだろう」「オープンスペースの保育室を活用して、学年でどんな活動が楽しめるだろう」など、新しい環境で展開されるさまざまな遊びを考えると、とても楽しみでワクワクします。子どもも、保護者の方も、そして教職員にとっても新たな場での生活となります。皆が新しい生活の場に慣れ、安心して過ごせるよう環境を整えていきたいと思えます。

2学期は、子どもたちにとって実りの時期です。体を動かすことの心地よさ、楽しかったことを表現したり、友達と相談して一緒に活動したりする楽しさ、秋の自然を感じる体験など、様々な活動に取り組んでまいります。2学期も引き続き、地域や保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



新園舎のエントランス